



210 STREAMER

ユーザーガイド



MERIDIAN

安全上のご注意

- ご使用にあたり本ユーザーガイドをお読みください。
- 本ガイドの取り扱いに従ってご使用ください。
- 本装置は水の近くで使用しないでください。
- 乾いた布でのみクリーニングしてください。
- 本ガイドに示された接続と設置方法に従ってご使用ください。
- すべての修理は、認可されたサービス担当者に依頼してください。

警告: 火災や感電の危険を避けるため、本機を雨や湿気にさらさないでください。

本機は単極の電源スイッチを使用しています。そのため、リアパネルでスイッチをオフにしても、AC 主電源から絶縁されることはありません。本機を主電源から切り離すには、電源コネクタを背面から抜くか、電源コードの反対側のコネクタをコンセントから抜いてください。**本機の電源は、本機背面の電源コネクタを抜くか、電源コードの反対側のコネクタをコンセントから抜くことで遮断できます。**

長期間、ご使用にならないときや、落雷の可能性があるときは電源コードを抜いてください。

安全に関する警告



注意: 感電の危険を減らすため、製品内部には触れないでください。修理は、必ずご購入された販売店に依頼してください。



このマークは、製品の筐体の中に絶縁されていない「危険電圧」が存在し、それが人に感電する危険があることを警告するためのものです。



正三角形内の感嘆符は、製品に付属する文書に重要な操作および保守(サービス)の指示があることを警告するためのものです。

使用環境



本機は標高 2000m 以下の場所で使用してください。
また屋内の環境で使用するように設計されています。
動作温度条件は、0℃ ~ 45℃です。

設置環境のご注意

- 本機を水滴や飛沫にさらさないでください。
- 花瓶のような液体の入ったものを、本機の上に置かないでください。
- 本機の上にロウソクなどの裸火を置かないでください。

過熱を防ぐために

- 直射日光の当たる場所に置かないでください。
- ラジエーターなどの熱源の近くに置かないでください。
- カーペットなどの柔らかい素材の上に製品を置かないでください。
- 十分な換気を確保するために、製品の周囲を 10cm 以上空けてください。



EEC:本製品は、EN55032:2015 および EN55024:2010
+A1:2015 に規定された制限に準拠するように設計および型式試験されて
います。

干渉を避けるには

パワーアンプの近くなど、強い電気や磁気の放射のある場所に本機を置かない
でください。

電波干渉

警告 この装置は無線周波数エネルギーを発生させ、放射する可能性があります。
当社の指示に従わずに正しく設置、使用されないと、無線通信またはラジ
オやテレビの受信に干渉を引き起こす可能性があります。本機は型式試験を受
け、FCC 規則のパート 15、サブパート J に規定されたクラス B コンピューテ
ィングデバイスの制限に適合しています。これらの制限は家庭での設置におい
て、そのような干渉に対する適切な保護を提供することを目的としています。

商標および著作権



Wi-Fi、Bluetooth、Spotify など本ガイド内の商標は
すべて各社の登録商標です。Meridian、および
Meridian 関連の商標、MHR はすべて Meridian
Audio の商標です。MQA は MQA Limited の商標で
す。Apple、Android、Roon は各社の登録商標です。



Designed and Manufactured in the UK

本機は開発、設計デザイン、製造とも全て英国内で行われています。

CONTENTS 目次

安全上のご注意を必ずお読みください ii ~ iii

安全上のご注意	ii - iii
はじめに	1
主な仕様	3
開梱(付属品) フロント・リアパネル	4
システム接続例	6
Meridian Control アプリを使ったインストールと設定	10
工場出荷状態でのインストールと設定	14
Meridian210Streamer のコントロール	17
ファームウェアについて	18

はじめに

Meridian 210 Streamer は、スマートフォン、タブレット、コンピューター、ネットワークサーバーとオーディオシステムとを高品位に融合するためのネットワークおよび接続プロトコルのフルセットを提供する高性能なネットワークオーディオソースです。

210 は、業界標準の S/PDIF(デジタル同軸出力)、または Meridian 機器専用の伝送プロトコル MHR(Meridian High Resolution)でデジタルオーディオ信号を出力することができます。これによりお手持ちの DA コンバーターやデジタル同軸入力を備えるアンプやパワードスピーカーにも接続することが可能です。、加えて Meridian のプリアンプや DSP スピーカーとの組み合わせたシステムアップも可能です。

Meridian(218など)に 210 を接続する場合は、MHR を出力するように設定する必要があります。210 には Meridian SpeakerLink 出力が 1 組あり Meridian 218 などのデジタルコントローラーには CAT5の LAN ケーブル1本で直接接続することができます。

210はお手持ちの DA コンバータや Meridian 製品との組み合わせで音楽ストリーミングを楽しむための理想的なソリューションとなります。

スマートフォンなどの再生デバイスからの直接ストリーミング

Meridian 210 Streamer は、一般的なプロトコルを使用して、スマートフォン、タブレット、コンピューターから直接ストリーミングされたオーディオを受信することができます。

Bluetooth

Bluetooth は、デバイスから 210 に直接オーディオをストリーミングするので、ワイヤレスネットワークのアクセスポイントやインターネット接続に依存しません。210 は aptX™ HD over Bluetooth をサポートしています。

ネットワーク

210 は、イーサネット接続、または内蔵の Wi-Fi 機能を使ってネットワークに接続します。Wi-Fi で接続するには、**Meridian Control** アプリを使用します(「Wi-Fi で接続するには」[14](#) ページ参照)。

インターネット音楽サービスからのストリーミング

Meridian 210 Streamer はインターネットストリーミング音楽サービスにも対応しており、再生開始と制御には接続デバイスを使用しますが、オーディオはインターネット経由で直接 210 にストリーミングされます。これらのサービスを利用するには、インターネットへのイーサネット接続または Wi-Fi 接続が必要です。本機が対応している音楽サービスは TIDAL、QOBUZ があります。
(22年7月現在、日本国内でのサービスは未開始です)

Spotify コネクト

Spotify アプリケーションで 210 が出力デバイスとして表示され、Spotify のカタログにある音楽を 210 から直接制御・再生することができます。
詳細 ⇒ 検索 Spotify コネクト



Roon ミュージックサーバーからのストリーミング再生

210 Streamer は、ローカルネットワーク上の Roon サーバーから音楽をストリーミング再生します。210 は Roon アプリケーションの出力デバイスとして表示されます。Roon サービスの利用には登録(有償)が必要です。

UPnP

210 は、ホームネットワーク機器向けの DLNA(Digital Living Network Alliance)規格 UPnP(Universal Plug and Play)に対応しており、DMR(Digital Media Renderer)として分類され、DMC(Digital Media Controller)からの指示で DMS(Digital Media Server)からのコンテンツを再生します。

USB ドライブ

210 は USB 入力を備えており、USB フラッシュドライブやハードディスクを接続することができます。USB ストレージがある場合、210 はデジタルメディアサーバー(DMS)として機能し、USB 内のコンテンツはネットワーク上のデジタルメディアレンダラー(DMR)から利用可能になります。

MQA コア・デコード

Meridian 210 は MQA コア・デコード技術を搭載しており、MQA ファイルを一度展開し、音楽に関連する直接の情報をすべて復元します。210 から出力される音声は、88.2kHz または 96kHz のサンプリングレートで出力されます。176kHz/192kHz 以上の MQA ファイルの最終的な展開(フル・デコード)は、210 の出力が MQA レンダラー機能を持つ他のメリディアン製品または他社の対応製品に供給された場合に行われます。

主な仕様

音声出力

- ・2チャンネル Meridian SpeakerLink 出力×2。
- ・2チャンネルデジタル同軸出力(RCA)x1
最大サンプリングレート 96kHz。(Meridian Control アプリを使用して S/PDIF(デフォルト)または MHR に設定することが可能)

オーディオ入力

- ・Meridian SpeakerLink 入力 1 系統
(ビットパーフェクトなダイレクトパススルー対応 2チャンネルデジタルオーディオのパススルーが可能です。

その他の接続

- ・USB ストレージデバイス用の USB-A 端子x1系統
- ・メンテナンス用ミニ USB ソケット

オーディオファイル形式

AAC、AIFF、MP3、FLAC、WAV、WMA、Apple Lossless、OGG、Monkey's、および MQA。
UPnP DLNA 1.5 & UPnP AV 1.0 に対応

-

ネットワーク

10/100 イーサネット
IEEE 802.11 a/b/g/n 2.4 & 5GHz デュアルバンド WiFi
セキュリティ:64/128 WEP/WPA/WPA2/TKIP/AES

インジケータ

フロントパネルにスタンバイ、ネットワーク、Spotify Connect のインジケータを配置。また Bluetooth、SpeakerLink In、MQA のステータスを表示します。電源インジケータはリアパネル部に設置されています。

外形寸法 204mm x 42mm x 150mm

(幅×高さ×奥行き(フット、コネクタ部は含まず)。

質量:0.66kg

電源:AC100-240V、50/60Hz。消費電力:最大 12W

-

開梱（付属品）

210 には以下のものが付属しています。

電源コード

接着シート付きラバーフット 4 個

セットアップガイド(英文)※

※簡単セットアップガイド(日本語)は、外箱のラベルに印刷されているQRコードからもアクセスすることができます。

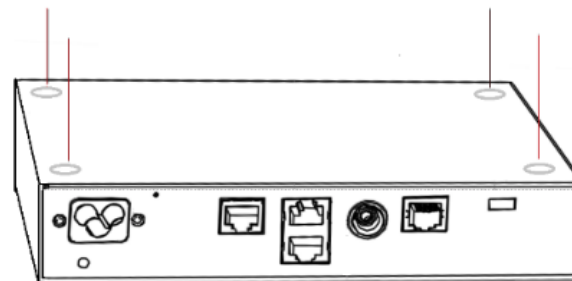
※保証書は発行しておりません。購入年月日が記された領収書、納品書などを保管してください。既定の無償保証期間は購入後1年です。5年保証延長キャンペーンは、現在日本で販売された本製品には適用されておりません。詳しくは、小社の製品保証規定をご覧ください。

<https://www.hires-music.jp/warranty/>



付属ラバーフットについて

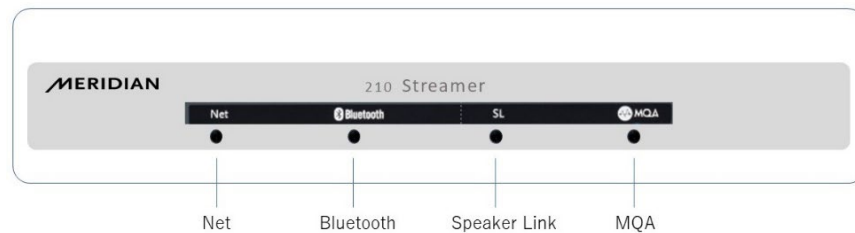
本体の底面、四隅に印刷されている丸い目印を目安にして設置することができます。保護シートを剥がして接着してください。



フロント/リアパネル

インジケータ

210 の状態は、フロントパネルにある 4 つのインジケータで示されます。



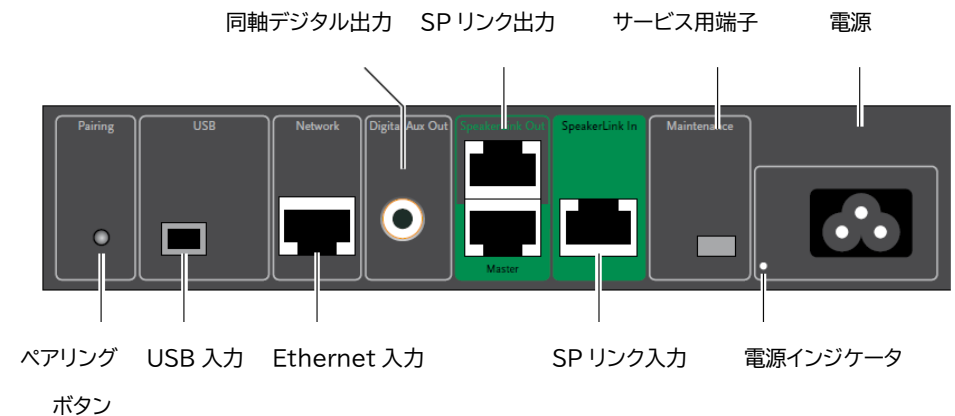
Net	青色(ゆっくり点滅) 起動中 青色で点灯 スタンバイ 白色スローフラッシュ ネットワーク起動中 白色点灯 ネットワーク準備完了 断続的 白色で点滅 ネットワークに IP アドレスがない 緑色 Spotify コネクト
Bluetooth	青/白の点滅 ペアリング待機中 常に白 接続中 青く点滅している 接続されているデバイスがない
SL	白色 スピーカーリンクのソース選択時点灯
MQA	グリーン MQA 認証済み ブルー MQA スタジオ マゼンタ MQA コア

出力端子(デジタルのみ)

- ・デジタル Aux 出力
デジタル同軸入力のあるプリアンプ、DA コンバーターなどを接続。
- ・SP リンク出力 (マスターとスレーブ)
SP リンク入力のある Meridian DSP ラウドスピーカー1 台または 2 台、またはスピーカーリンク入力のある Meridian コントローラーなど (218、818、Ultra DAC) を接続。

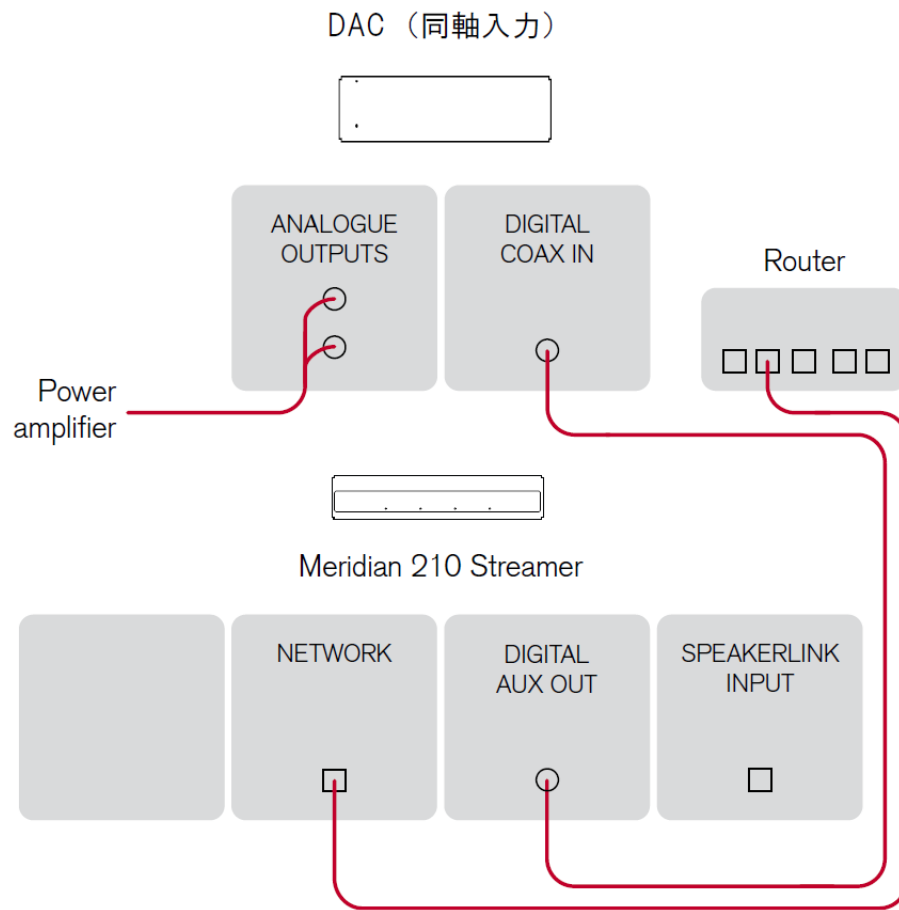
入力端子

- USB 入力;USB フラッシュドライブまたはハードドライブの接続可能
- Ethernet 入力:イサーネットワークとの接続
- SP リンクイン:Meridian 製品専用の入力端子



システム接続例

お手持ちの(他社製)DA コンバーター等との組み合わせ



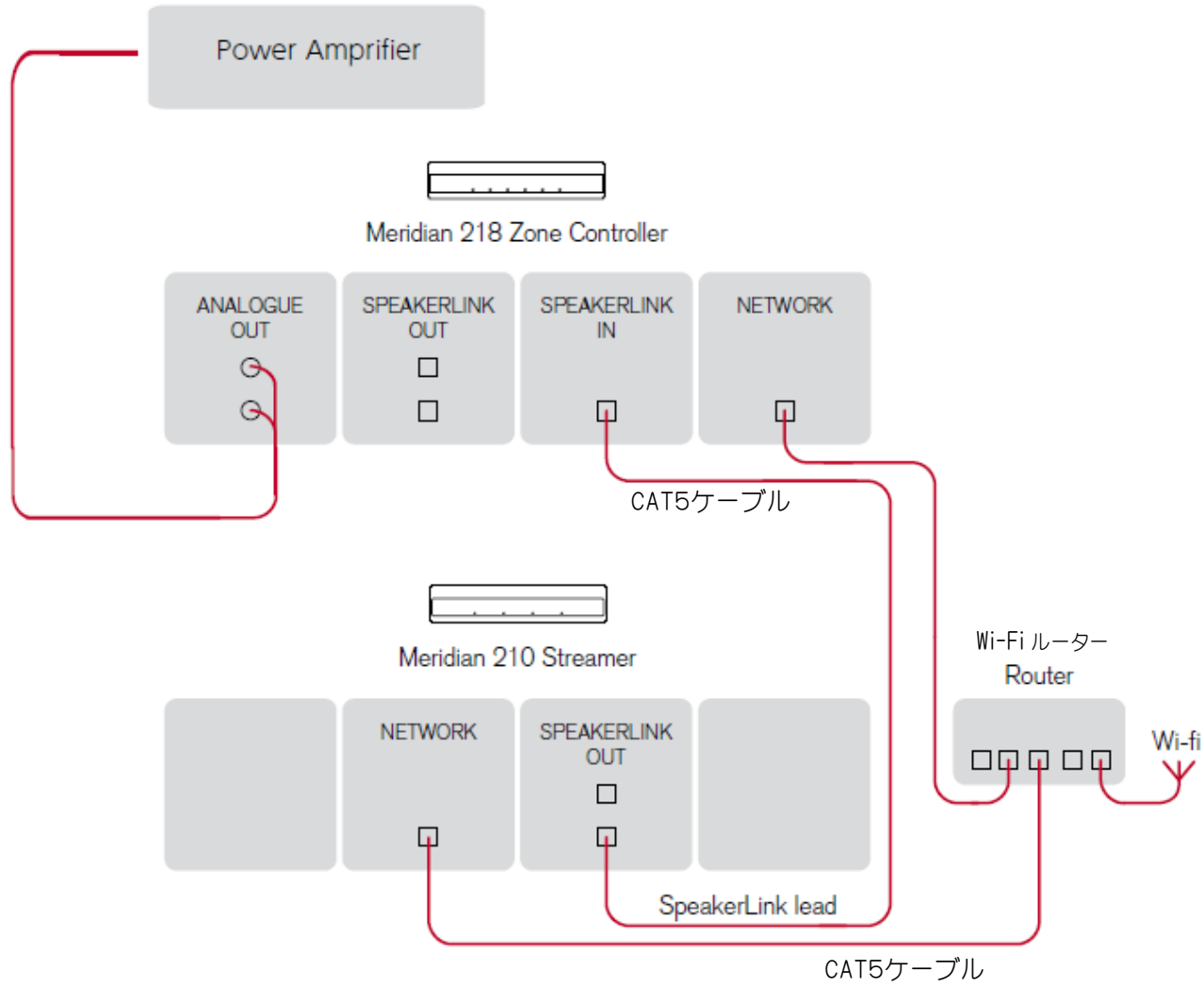
DA コンバーターとの接続

Meridian210 の同軸デジタル出力とお手持ちの DA コンバーターの同軸入力を同軸ケーブルで接続します。

AV アンプやパワードスピーカーとの接続

AV アンプやスピーカーで DA コンバーターを内蔵している製品とも同様に同軸ケーブルで接続することができます。

Meridian の DAC218等との組み合わせ例（説明は8ページ参照）



Meridian 210 と 218 ゾーンコントローラーを接続したシステム例

8

- ・210 の Master SpeakerLink 出力と 218 の SpeakerLink 入力を CAT5ケーブル※で接続します。
- ・218 と 210 は、それぞれ同一のネットワーク環境(ルーター)に CAT5 ケーブルで接続します。

※オプションで、追加のデジタルおよびアナログソースを 218 のアナログ、デジタル、オプティカル入力に接続します。

※オプションで 210 の USB 入力に USB フラッシュドライブやハードディスクを接続し、210 を UPnP ミュージックサーバーとして使用することも可能です。

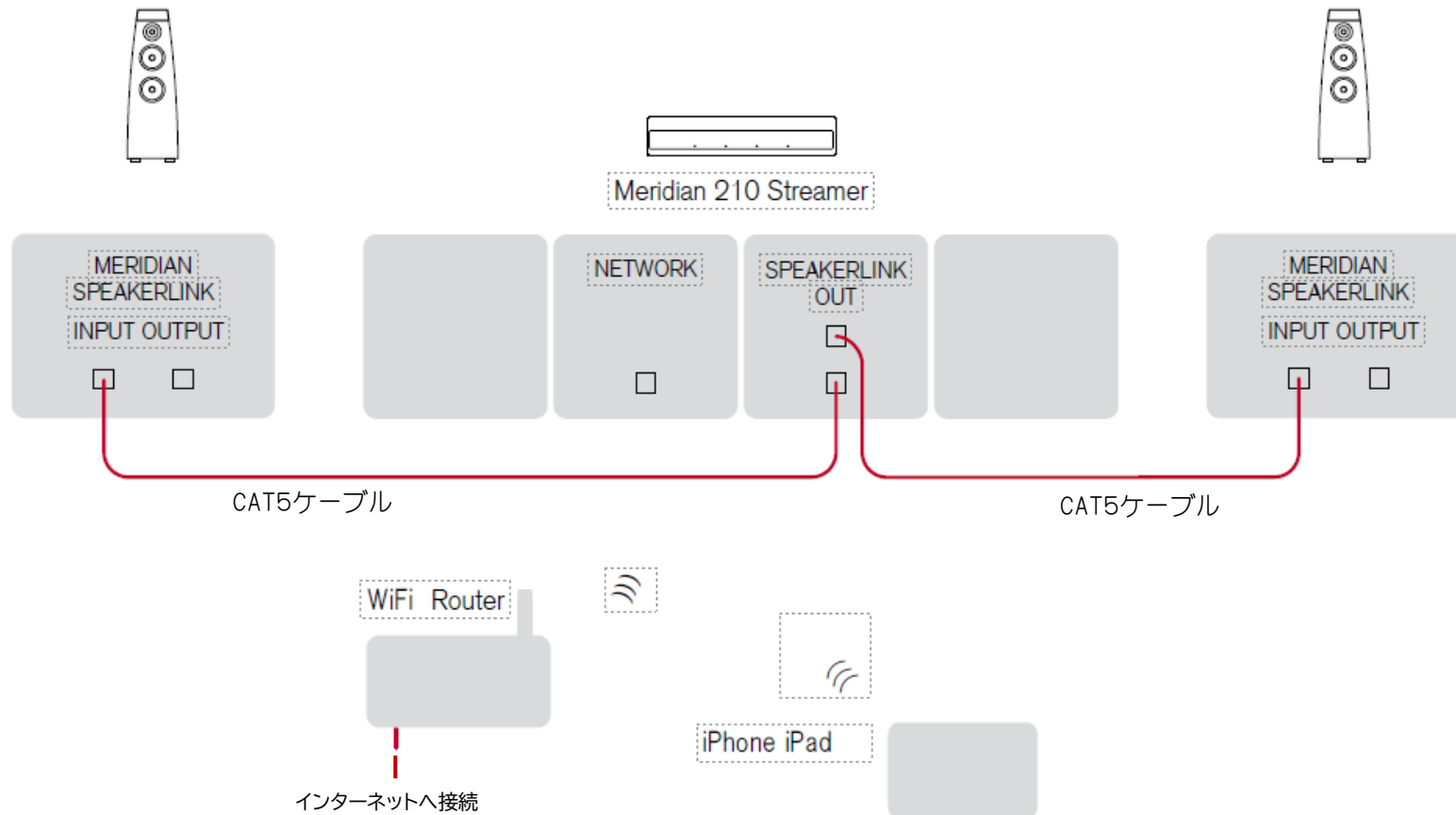
注意:218 と210の動作が連携できない時は？

218 のウェブ・インターフェースを使用して、SLS ソースに SpeakerLink 入力を選択するように 218 を設定する必要があります。(218の設定を工場設定のまま、変更していない場合はこの設定は必要ありません)

※CAT5ケーブルとは？一般的には LAN ケーブルと呼ばれているもので、カテゴリ5の規格に準拠している性能の製品を指します。家電店、パソコンショップで入手することができます。

アプリによる統合操作(13ページ参照)

システムは、Meridian 製のリモコン、iOS 用 Meridian IP Control アプリ、または iOS/Android 用 Meridian Control アプリでも制御することができます。



Meridian 210 Streamer から Meridian 社の DSP スピーカーにオーディオをストリーミングし、スマートフォンやタブレットで音楽をコントロールするシンプルなスタンドアロン・システムです。

210の SpeakerLink 端子から CAT5 ケーブルで、左右の DSP スピーカーに標準的な CAT5ケーブル(または SpeakerLink 専用ケーブル)で接続するだけでシステムが構築できます。

Meridian Control アプリを使ったインストールと設定

この章では、iOS または Android デバイス上で動作する Meridian Control アプリを使用して、Meridian 210 Streamer をインストールおよび設定する推奨方法について説明します。これにより、本製品の全機能にアクセスし、ストリーミングや再生を制御することができます。

210 は、Meridian Control アプリを使用せずにデフォルト設定で使用することもできます。詳細は、次章の「デフォルト設定でのインストールと設定」(17 ページ)をご覧ください。

高度な機能

Meridian Control アプリでは、以下の高度な機能が可能です。

- Wi-Fi 経由でネットワークに接続する
- DHCP から静的 IP アドレスへの変更など、ネットワーク接続の設定
- 出力の MHR(Meridian High Resolution)を有効にする
- デバイス名の変更(一部のストリーミングアプリで表示されるもの)
- Bluetooth デバイスの管理
- Meridian システム内に統合するためのソースの設定 システムスタート時の音量、Bluetooth スタート時の音量、Bluetooth 音量リミットなどの音量コントロールのオプションを設定します。
- ファームウェアのバージョンを確認し、ファームウェアのアップデートをインストールする
- 工場出荷時の設定に戻す

Meridian Control アプリ(無償)のダウンロード

アプリは、iOS デバイスの場合は Apple App Store から、Android デバイスの場合は Google Play Store からダウンロードすることができます。いずれの場合も、“Meridian” と検索して該当アプリを見つけるか、下記の QR コードをスキャンしてください。



Meridian Control アプリを使用して 210 をインストールする

アプリを初めて実行すると、インストール手順が表示されます。アプリ内で選択されたいくつかの簡単なセットアップオプションに応じて、適切な指示が表示されます。後で変更が必要な場合は、すべての構成設定にアプリからいつでもアクセスできます。さらに、アプリは多くの高度な機能へのアクセスを提供し、製品のコントロールにも使用できます。[20](#) ページの「Meridian 210 Streamer のコントロール」を参照してください。

ネットワーク接続

① Wi-Fi で接続する場合

Meridian Control アプリをダウンロードします(Meridian Control アプリのダウンロード、[13](#) ページを参照)。

210 の電源を入れます。

Meridian Control アプリを実行します。

WI-FI を選択し、アプリの指示に従います。

② イーサネットケーブルで有線接続する場合

210 のネットワーク端子とネットワーク(無線ルーター)との間を標準的な CAT5ケーブルで接続して、210 の電源を入れます。

210 のネットワーク・インターフェースは、DHCP を使用して自動的に設定されます。

※**ご注意** なお、有線接続は、Wi-Fi ネットワーク接続より自動的に優先されますので、210 が有線ネットワークに正常に接続されると、Wi-Fi 接続は利用できなくなります。

Meridian の DSP スピーカーを接続するには

- ・システムに Meridian218 などのコントローラーがない場合
⇒Meridian DSP スピーカーを CAT5 ケーブルを使用して SpeakerLink 出力にダイレクトに接続します。
- ・218 など最新の Meridian コントローラーとセットで使う場合
⇒スピーカーリンク出力(Master)をコントローラーのスピーカーリンク入力に接続します。
- ・コントローラーのスピーカーリンク入力端子がすでに使用されている場合
または、他のソースにすでに使用されている場合
⇒そのソースを 210 のスピーカーリンク入力に接続して、コントローラーのスピーカーリンク入力を空け、マスタースピーカーリンク出力をこれに接続します。

オーディオ・ストリーミング

Bluetooth、Spotify Connect、または Roon を介して、210 にオーディオをストリーミングすることができます。

ストリーミングのソースがアクティブになると、210 は自動的に新しいストリームに切り替わり、すでに再生されているストリームは切断されます。

Bluetooth 接続でストリーミングするには

Bluetooth によるストリーミング再生では、210 をインターネットやネットワークに接続する必要はありません。Bluetooth 接続でストリーミングする場合は、フロントパネルの Bluetooth インジケーターが点灯します。

Bluetooth 接続の設定方法は、iOS デバイスと Android デバイスで若干異なります。Meridian Control アプリは 210 との通信に Bluetooth 接続を使用しますが、Bluetooth でオーディオをストリーミングするには、210 のリアパネルのペアリング・ボタンで 2 回目の Bluetooth 接続を行う必要があります。この手順は、iOS と Android のどちらを使用しているかによって若干異なります。

iOS デバイス

■210 リアパネルのペアリング・ボタンを押します。

[その他のデバイス] にペアリング可能な 210 の 2 つ目のエントリが表示されます。ストリーミング・オーディオ用の接続を作成するために、この 2 番目のエントリを選択します。接続されると、オーディオ接続は青い情報アイコンで識別されます。

Android デバイス

■リアパネルのペアリング・ボタンを押す

210 が接続可能な状態として表示されます。

■210への接続を選択して、オーディオ接続を確立します。

Spotify Connect、または Roon でストリーミングする場合

携帯電話、タブレット、またはコンピューターで実行されている Spotify または Roon で、210 が利用可能な出力デバイスとして認識され、自動的に表示されることを確認してください。

■操作画面から出力先を 210 に選択すると、210 で音楽が再生されます。また操作デバイスから音量の調節や音楽の一時停止を行うことができます。ネットワーク経由のストリーミング再生中は、フロントパネルに Network インジケーターが点灯します。

Spotify Connect のストリームは、デバイスで制御されますが、インターネット上の音楽サービスから直接 210 に転送されます。そのため、Spotify Connect からのストリーミングを行うには、210をインターネットと接続しておくが必要です。

Roon ストリームは、Roon サーバーで制御および再生され、ローカルネットワーク経由で 210 にストリーミングされます。そのため、Roon サーバーから再生するには、210のインターネット接続は必要ありません。

UPnP ミュージックサーバーからストリーミング再生する場合

ネットワーク上に UPnP ミュージックサーバーがある場合、Bubble UPnP や Audirvana などの適切なコントロールアプリケーションを使用して、ミュージックサーバーから音楽をストリーミングすることができます。210 は、UPnP ミュージックサーバーをホストするために使用することができます。

SpeakerLink ソースの接続

Meridian の CD プレーヤーなどで SpeakerLink を備えているモデルからの音源は、210 の SpeakerLink 入力端子と接続することができます。デフォルトでは、“CD”ソースとして表示されます。Meridian システムで SpeakerLink ソースを選択すると、フロントパネルの SL インジケータが点灯します。

ミュージックサーバーを接続する

音楽ファイルの入った USB フラッシュドライブやハードディスクを 210 の USB ポートに接続すると、Meridian 210 Streamer を UPnP 音楽サーバーとして使用することができます。なお210から出力されるデジタル信号は最大で96kHzになります。

工場出荷状態でのインストールと設定

この章では、工場出荷時の設定を変更せずに、210 を箱から出してすぐを使用する方法について説明します。この場合、Meridian Control アプリは必要ありません。工場出荷状態のまま実行できるオプションは以下の通りです。

- ネットワーク接続は、有線イーサネットケーブル経由である必要があります。
Wi-Fi は使用できません。(Wi-Fi はアプリで利用可能に変更できます)
- DHCP IP アドレスが使用されます;、静的 IP は使用できません。
- MHR (Meridian High Resolution) は使用できません。
- 210 は、Spotify Connect 内のデフォルトのデバイス名で表示されます。
- Spotify Connect にデフォルトのデバイス名で表示されます。
- Bluetooth 接続は、携帯電話、タブレット、またはコンピュータで、そのデバイスの標準的な接続方法で接続する必要があります。
- Meridian のソース構成(名称等)を変更することはできません。
- ボリュームコントロールの動作をカスタマイズすることはできません。
- ファームウェアのバージョンチェックやアップデートはできません。
- ネットワーク接続は、デフォルト設定では、イーサネットケーブルで接続する方法しかありません。DHCP を使用したケーブルによる接続のみです。

ネットワークとの接続

標準的なCAT5ケーブルを 210 のネットワーク端子に接続してから 210 の電源を投入します。210 のネットワーク・インターフェースは、DHCP を使用して自動的に設定されます。

Meridian の DSP スピーカーを接続するには

- ・システムに Meridian218 などのコントローラーがない場合
⇒ Meridian DSP スピーカーを CAT5 ケーブルを使用して SpeakerLink 出力にダイレクトに接続します。
- ・218 など最新の Meridian コントローラーとセットで使う場合
⇒ スピーカーリンク出力(Master)をコントローラーのスピーカーリンク入力に接続します。
- ・コントローラーのスピーカーリンク入力端子がすでに使用されている場合かまたは、他のソースにすでに使用されている場合
⇒ そのソースは 210 のスピーカーリンク入力に接続して、コントローラーのスピーカーリンク入力を空けます。そして210のマスタースピーカーリンク出力をコントローラーに接続します。

※コントローラー:Meridian218等のプリアンプ、DAC など

オーディオ・ストリーミング

Bluetooth、Spotify® Connect、または Roon を使用して、210 にオーディオをストリーミングできます。

Connect、または Roon を併用して 210 にストリーミングできます。ストリーミングのソースがアクティブになると、210 は自動的に新しいストリームに切り替わり、再生中のストリームは切断されます。

Bluetooth 接続でストリーミングする

- 210 のリア・パネルのペアリング (Pairing) ボタンを押して、210 をペアリング・モードにします。iOS デバイスでは、デバイスの Bluetooth 設定表示画面で 210 が利用可能であると表示されます。
- [接続] を選択してオーディオ接続を確立します。

Android デバイスの場合では、Bluetooth 設定画面には、210 の 2 種類の異なる接続が表示されることがあります。これらの 1 つはストリーミング・オーディオに関連し、もう 1 つはアプリに関連します。アプリの接続は、「210」の後に 3 桁の数字が続く形式で表示されています。このアプリ接続は無視して、もう他方の接続を選択してオーディオ接続を確立します。

Spotify コネクト、または Roon でストリーミングする場合

携帯電話、タブレット、またはコンピューターで実行されている Spotify または Roon で、210 が利用可能な出力デバイスとして認識され、自動的に表示されることを確認してください。

- 操作画面から 210 を選択すると、210 で音楽が再生されます。また操作デバイスから音量の調節や音楽の一時停止を行うことができます。ネットワーク経由のストリーミングの場合、フロントパネルに Network インジケーターが点灯します。

Spotify コネクトのストリームは、デバイスで制御されますが、インターネット上の音楽サービスから直接 210 に転送されます。そのため、Spotify Connect からのストリーミングを行うには、210 をインターネットと接続しておくが必要です。

Roon ストリームは、Roon サーバーで制御および再生され、ローカルネットワーク経由で 210 にストリーミングされます。そのため、Roon サーバーから再生するには、210 のインターネット接続は必要ありません。

UPnP ミュージックサーバーからストリーミング再生する

ネットワーク上の UPnP ミュージックサーバーにアクセス可能である場合、210 は、Bubble UPnP や Audirvana(有償)などの適切な再生コントロール・アプリを使用して、ミュージック・サーバーから音楽をストリーミングすることができます。210 は、UPnP ミュージックサーバーをホストするために使用することができます。後述のミュージックサーバーの接続説明を参照してください。

ミュージックサーバーからのストリーミング再生

Meridian 210 Streamer を UPnP ミュージックサーバーとして使用することができます。210 の USB 端子と音楽ファイルの入った USB フラッシュドライブやハードディスクを接続することで、Meridian 210 Streamer を UPnP ミュージックサーバーとして使用できます。

Meridian の CDPL (Meridian のソース機器) などの接続

Meridian 独自の SpeakerLink 端子が搭載された製品は、以下の方法で接続できます。デフォルトでは“CD”ソース※として表示されます。

Meridian システムで SpeakerLink ソースを選択すると、フロントパネルに SL インジケータが点灯します。

※接続機器の環境により異なる表示になる場合もあります。

ミュージックサーバーとの接続

Meridian 210 Streamer を UPnP ミュージックサーバーとして使用することができます。

210 の USB 端子に音楽ファイルの入った USB フラッシュドライブや USB ハードディスクを接続することで、Meridian 210 Streamer を UPnP ミュージックサーバーとして使用できます。

Meridian 210 Streamer のコントロール

210 に搭載されている唯一の操作ボタンは、リアパネルにある Bluetooth ペアリング・ボタンです。これは 210 を Bluetooth 機器とペアリングするために使用されます。

210 には操作ボタンは他には一切ありませんが、他の Meridian 機器と組み合わせて使うと、210 は様々な制御コマンドの処理と実行に重要な役割を担うことができます。

210 の主な役割のひとつは、ネットワーク上のオーディオアプリケーションとネットワークに接続されたオーディオアプリとメリディアンのシステムとの間のリンクとして機能します。

このような状況では、携帯電話、タブレット、コンピューター上で実行されているアプリ内で使用されるコマンドは、メリディアンの機器を制御するように 210 によって処理されます。

逆に、メリディアン機器で使用される特定の制御コマンドは、210 によって処理され、接続された機器上で実行されているアプリに反映されメリディアン機器を制御します。つまり、210 と他のメリディアン製品を組み合わせシステムでは、必ずしも 210 そのものを直接制御することなく利用できます。音量の調整、再生キューの調整、再生ソースの選択などが可能です。

また、**Meridian Control アプリ**は、システムをコントロールするための追加の方法を提供します。専用 Meridian Control アプリは iOS でも Android デバイスでも動作するため、オーディオを再生するデバイスと同じデバイスで使用することができます。

これにより、手元でソースの選択、ボリューム、電源オン/スタンバイのコントロールが簡単に行え、システムからフィードバックされる情報を使ってこれらの設定状況を表示画面で確認できるため、直感的に使用することができます。

また、210 が提供する高度な統合機能の一部で、複数のソースからボリュームコマンドを受信した場合でも、音のレベルを予測できます。複数のソースからボリュームコマンドを受信しても、音のレベルが予想外に高くなったり低くなったりすることなく、予測可能なレベルを維持することが可能です。

Meridian Control アプリから利用可能な制御コマンド

- ・音量アップ、音量ダウン、ミュート(消音)、
- ・再生(Play)、停止(Stop)、一時停止(Pause)、次トラック、前トラック、
- ・電源オン、オフ(スタンバイ) および Meridian ソース選択

ファームウェアについて

210 のファームウェアは、Meridian Control アプリを使用して確認し、必要に応じて更新することができます。Meridian Control アプリを使用して、必要に応じてチェックし、更新することができます。アプリの入手方法は 13 ページを参照してください。

- アプリを開き、210 Streamer に接続します。
- 画面左上のアイコンをタップし、メニューオプションを表示します。
- アドバンスド・オプションを選択します。
- **FIRMWARE UPDATE**(ファームウェアアップデート)を選択し、2 つのオプションを表示します。

あるいは…

- **Enable Auto-Update**(自動更新を有効にする)を選択すると、アップデートが自動的にダウンロードされ、インストールされます。[自動更新を有効にする]を選択すると、アップデートがリリースされると自動的に 210 にダウンロードされ、インストールされます。

または…

- **Check For Updates**(アップデートの確認)をタップして、アップデートが利用可能かどうかを確認します。もし、アップデートがある場合は、アップデートを手動(Manual)でインストールするオプションが表示されます。

アップデート中の本体表示

ファームウェアのアップデートが行われている間、フロントパネルの4つのインジケーターが順番に点滅します。アップデートには、最長で約 60 秒かかる場合があります。

アップデートが完了すると、本体が自動的に再起動します。再起動中は、フロントパネルの Net インジケーターが青く点滅します。再起動には約 30 秒かかります。なお、アップデート中に、電源が落ちると故障の原因となることがあります。電源が落ちないように確認して行ってください。